

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会

奈良県準備委員会

第 2 回 広報・県民運動専門委員会

令和 7 年 6 月 9 日（月）

ホテル日航奈良 4 階羽衣

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会 奈良県準備委員会
第 2 回 広報・県民運動専門委員会 資料目次

《 報告事項 》

- (1) 委員の変更について . . . P 2 ～ 3
- (2) 第 5 回常任委員会（令和 7 年 3 月 2 6 日）の決定事項 . . . P 4 ～ 6

《 審議事項 》

●委任事項

- (1) 第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会愛称・スローガンの公募について（案）
. . . P 7 ～ 18
- (2) 第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクターのデザインについて（案）
. . . P 19

《 その他 》

●意見交換

- 開催内定を契機とした広報活動について . . . P 20 ～ 21

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会
奈良県準備委員会広報・県民運動専門委員会 委員の変更について

令和6年11月12日から令和7年6月8日までの間における委員の変更について、次のとおり報告する。

所属機関・団体	新任者		前任者	
	役職	氏名	役職	氏名
奈良新聞社	編集部デスク	増山 和樹	編集部デスク	井上 直士
奈良県商工会連合会	事務局長	吉川 誓二	事務局長	岡本 浩至
一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー	事務局長	福田 純一	事務局長	川西 直美
公益財団法人奈良県スポーツ協会	事務局長	沼田 守弘	事務局長	和田 俊廣
広報広聴課	課長	村上 美紀	課長	山口 将司
スポーツ振興課	課長	吉村 宗浩	地域創造部 次長 (スポーツ担当)	木村 茂和
観光戦略課	課長	辻 勝式	課長	渡辺 翔太郎

第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会

奈良県準備委員会 広報・県民運動専門委員会 専門委員名簿

(敬称略)

	分野	機関・団体名	役職	氏名	備考
1	学識経験者	公立大学法人 奈良県立大学	学長特別補佐／教授	岡井 崇之	委員長
2	メディア	奈良新聞社	編集部デスク	増山 和樹	
3		奈良テレビ放送株式会社	報道制作局長	三宅 剛人	
4		NHK奈良放送局	コンテンツセンター長	緒方 英俊	
5	産業経済	奈良県商工会議所連合会	幹事	中村 吉代茂	
6		奈良県商工会連合会	事務局長	吉川 誓二	
7	観光	一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー	事務局長	福田 純一	
8	スポーツ	公益財団法人奈良県スポーツ協会	事務局長	沼田 守弘	
9		奈良県障害者スポーツ協会	事務局長	水野 博夫	
10	県	広報広聴課	課長	村上 美紀	
11		スポーツ振興課	課長	吉村 宗浩	副委員長
12		観光戦略課	課長	辻 勝式	

第5回常任委員会（令和7年3月26日）の決定事項

- （1） 第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会
広報基本方針
- （2） 第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会
広報基本計画
- （3） 第85回国民スポーツ大会 競技会場地市町村第3次選定

※広報・県民運動専門員会所管の決定事項は、P5～P6を参照

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会
広報基本方針

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の広報活動については、大会開催基本方針に基づき、大会の開催意義を広く県民に周知し、その理解を深めることにより、開催に向けた機運の醸成を図るため、次の方針により実施する。

【方針 1】

社会の変化に応じて新しい価値を生み出す奈良県の大会をアピールします。

【方針 2】

あらゆる人が「する」「観る」「支える」のあらゆる形で大会に参加できることを広く知らせます。

【方針 3】

スポーツの楽しさや喜びを共に分かち合い、大会の感動を共有する大会広報を重視します。

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会 広報基本計画

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）に向けて、大会広報基本方針に基づき、次の広報活動を実施する。

1. 愛称・スローガン、マスコットキャラクターによる広報

…大会の認知度や親しみやすさを高める。

- (1) 愛称・スローガンの活用
- (2) マスコットキャラクターの活用

2. 多様なメディアによる広報

…SNSを含む多様なメディアで迅速かつ効果的な広報を展開する。

- (1) ホームページ、SNS等の活用
- (2) プレスリリースを用いたパブリシティの展開
- (3) 新聞、ラジオ、テレビ等の活用による広告・宣伝

3. 各種広報物による広報

…広報物を活用し必要な情報を広く伝える。

- (1) 広報グッズ、大会ガイドブック等の作成
- (2) 県・市町村、関係機関・団体等刊行物（広報誌等）の活用

4. イベントによる広報

…大会開催までの節目イベントで大会のアピールと盛り上げを行う。

- (1) 開催内定イベント、開催決定イベント、開催1年前イベント等の開催
- (2) 各種イベントと連携したPR活動

5. 参加章等の作成

…大会参加を記念する参加章等で参加者の満足度を高める。

- (1) 参加章、記念章の作成
- (2) 記念グッズ等の作成

6. 大会記録集等の制作

…大会を映像等に記録する。

- (1) 大会記録集の制作
- (2) 大会記録映像の制作

7. その他

その他、大会広報基本方針に基づく必要な広報を実施

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会
愛称・スローガンの公募について（案）

1. 制定の方針

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会を象徴し、広く県民に愛される愛称及びスローガンを公募し、制定する。

（令和 6 年 11 月 12 日第 1 回広報・県民運動専門員会決定）

2. 募集（愛称・スローガン募集要項の概要）

（1）募集期間

令和 7 年 7 月 1 日～9 月 12 日

（2）応募資格

制限なし

（3）募集作品及び条件

① 愛称

- ・ 親しみやすく呼びやすい、奈良県らしさあふれる言葉で表現された、2031 年に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の呼び名
- ・ 募集作品は、「〇〇国スポ・全スポ」「国スポ・全スポ〇〇」の〇〇の部分
- ・ 「奈良」を入れる場合は、ひらがな、カタカナ、ローマ字（N A R A）でも構わない。

② スローガン

- ・ 奈良県が目指す大会の姿を印象づける言葉・キャッチコピー

（4）賞金

「愛称」、「スローガン」それぞれ 1 作品を選定し、賞金 5 万円を贈呈する。なお、採用作品の応募者が複数の場合は、抽選により決定する。

（参考）募集に関する広報施策

- ・ 県内中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校へのチラシ配布
- ・ 近鉄主要駅、コンビニ、スーパー等でのポスター掲示、チラシ配架
- ・ 広報誌への掲載（県広報誌「県民だより奈良」、市町村広報誌）
- ・ プレスリリースの配信
- ・ テレビ、新聞、ラジオでの P R

- ・ ホームページ、SNSによる告知
- ・ 公募サイトへの掲載

3. 審査及び決定

応募作品の審査及び採用作品の選定のため、専門委員会規程第5条に基づき、愛称・スローガン選定部会設置要領を定め、愛称・スローガン選定部会を設置する。愛称・スローガン選定要領に審査基準及び選定方法を定め、採用作品を選定する。

(1) 審査基準

○愛称・スローガン共通

- ・ 言葉の響きやリズムがよく、印象に残ること。
- ・ 一部の地域に限定される表現が用いられていないこと。
- ・ 過去に使用された作品と類似していないこと。
- ・ 開催基本方針から想起されるフレーズに沿った内容であること。
「だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しむ」
「活き活きと安心して健やかに暮らす」
「奈良県の魅力発信」 など

○愛称

- ・ 誰からも親しみやすく、呼びやすいものであること。
- ・ 奈良県らしさのある言葉で、奈良県の魅力を広く発信できるものであること。

○スローガン

- ・ 奈良県で開催される大会の趣旨や目的、大会に向けた思いを印象づける言葉であること。
- ・ 奈良県をイメージできる言葉・フレーズが用いられていること。

(2) 選定方法

- ① 事務局による調整（第1次選定）
- ② 愛称・スローガン選定部会による書類審査（第2次、第3次選定）
- ③ 愛称・スローガン選定部会による最終候補の選定、事務局での整理
- ④ 広報・県民運動専門委員会による決定

(3) 報告及び発表

常任委員会において、愛称及びスローガンの採用作品を報告する。
採用作品の発表は、令和8年3月頃にホームページなどで公表する。

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会
愛称・スローガン募集要項（案）

1 趣旨

奈良県では、2031 年（令和 13 年）に、第 85 回国民スポーツ大会（略称：国スポ）及び第 30 回全国障害者スポーツ大会（略称：全スポ）を開催します。本大会の機運を高めるため、大会を象徴し、広く県民に愛される「愛称」・「スローガン」を募集します。

2 募集期間

2025 年 7 月 1 日（火）～2025 年 9 月 12 日（金）（当日消印有効）

3 応募資格

制限はありません。

未成年の方は、保護者の同意が必要です。（ご応募いただく際に保護者の方の氏名及び電話番号（平日日中帯にご連絡が取れる連絡先）を応募フォームへご入力いただく必要があります。）

4 募集作品及び条件

（1）愛称

- ・親しみやすく呼びやすい、奈良県らしさあふれる言葉で表現された、2031 年に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の呼び名のことです。
- ・募集作品は、「〇〇国スポ・全スポ」「国スポ・全スポ〇〇」の〇〇の部分です。
- ・「奈良」を入れる場合は、ひらがな、カタカナ、ローマ字（N A R A）でも構いません。

（2）スローガン

- ・奈良県が目指す大会の姿を印象づける言葉・キャッチコピーのことです。

5 賞金

応募作品の中から、「愛称」、「スローガン」それぞれ次のとおり採用作品を選定し、賞金を贈呈します。

また、採用作品の応募者が複数ある場合は、抽選による懸賞当選者を 1 名決定します。

(1) 愛称

採用作品 1 作品 賞金 5 万円

(2) スローガン

採用作品 1 作品 賞金 5 万円

6 応募方法

(1) チラシについている応募はがき、郵便はがき、または、インターネット（奈良スーパーアプリ）のいずれかの方法で応募してください。

電話、FAX、電子メールによる応募は受け付けません。

(2) 応募 1 件につき、「愛称」、「スローガン」各 1 作品を明記し、それぞれに説明や込められた思い（200 文字以内）を必ず記載してください。

なお、「愛称」、「スローガン」のいずれか 1 作品の応募も可能です。

(3) 応募者の名前（ふりがな）、郵便番号、住所、年齢、電話番号、職業（学校名、学年）を記入してください。

(4) 作品は、自作で未発表のものに限ります。

(5) 1 人何作品でも応募できます。ただし、1 回の応募につき各 1 作品の応募とし、それぞれ異なる作品に限ります。

(6) 作品応募に係る費用は、応募者の負担となります。郵便による場合、切手のないもの等は受け付けません。

7 審査及び決定

(1) 第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会奈良県準備委員会において審査し、採用作品を決定します。

(2) 審査基準

愛称・スローガン共通

- ① 言葉の響きやリズムがよく、印象に残ること。
- ② 一部の地域に限定される表現が用いられていないこと。
- ③ 過去に使用された作品と類似していないこと。
- ④ 開催基本方針から想起されるフレーズに沿った内容であること。

「だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しむ」
「生き活きと安心して健やかに暮らす」
「奈良県の魅力発信」 など

愛称

- ① 誰からも親しみやすく、呼びやすいものであること。
- ② 奈良県らしさのある言葉で、奈良県の魅力を広く発信できるものであること。

スローガン

- ① 奈良県で開催される大会の趣旨や目的、大会に向けた思いを印象づける言葉であること。
- ② 奈良県をイメージできる言葉・フレーズが用いられていること。

8 発表

採用作品の発表は、2026 年 3 月頃にホームページなどで公表します。

9 その他

- (1) 採用作品は、第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会の「愛称」、「スローガン」として採用し、その広報活動などに広く使用します。
- (2) 採用作品の著作権(著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む)、商標権その他一切の権利は、第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会奈良県準備委員会に帰属するものとします。
- (3) 応募作品について著作権等に関わる問題が生じた場合は、すべて応募者の責任となります。
- (4) 応募作品は、返却しません。
- (5) 応募作品は、補作(加筆・修正)を行った上で、採用作品とする場合があります。
- (6) 住所、名前、電話番号等の個人情報については、本事業実施に関わる事務以外には使用しません。なお、懸賞当選者の名前、住所(市町村名)、職

業（学校名・学年）については原則公表します。

（７）この募集要項に違反したものは、審査の対象となりません。後日違反が判明した場合には、採用を取り消すことがあります。

（８）応募の時点で、この募集要項の記載事項に同意したものとします。

10 応募・問い合わせ先

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町 30

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会

奈良県準備委員会事務局

（奈良県地域創造部 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備室内）

ＴＥＬ：0742-27-8910

ＨＰアドレス：<https://www.pref.nara.jp/61488.htm>

(参考1)

＜当県での前回開催の国民体育大会・全国身体障害者スポーツ大会の愛称及びスローガン＞

開催年	愛称	スローガン
1984 年 (奈良県)	わかくさ国体	駆けよ大和路はばたけ未来
	わかくさ大会	この力伸ばそう生かそうたくましく

※今回の募集に関しては、国スポ・全スポ共通の愛称及びスローガンとします。

＜先催県における大会・愛称スローガンの制定状況＞

開催年	愛称	スローガン
2024 年 (佐賀県)	S A G A 2 0 2 4 国スポ・全障スポ	新しい大会へ。 すべての人に、スポーツのチカラを。
2025 年 (滋賀県)	わた S H I G A 輝く 国スポ・障スポ	湖国の感動 未来へつなぐ
2026 年 (青森県)	青の煌めきあおもり国スポ 青の煌めきあおもり障スポ	翔けろ未来へ縄文の風に乗って
2027 年 (宮崎県)	日本のひなた 宮崎国スポ・障スポ	紡むぐ感動 神話となれ
2028 年 (長野県)	信州やまなみ国スポ・全障スポ	行こう。それぞれの頂へ。
2029 年 (群馬県)	湯けむり国スポ・全スポぐんま	
2030 年 (島根県)	島根かみあり国スポ・全スポ	自分を超えろ、神話をつくれ

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針

1. 基本方針

第 85 回国民スポーツ大会及び第 30 回全国障害者スポーツ大会は、大会開催を契機として、競技スポーツや地域スポーツの推進を図るとともに、県民の健康増進や生きがいがづくりに取り組みます。

その中で、子どもから高齢者まで、障害の有無にかかわらず、全ての県民がスポーツを通して夢や希望を得られるように、大会を一過性のイベントに終わらせず、大会開催を契機とした、さらなるスポーツの振興と環境の充実に取り組みます。

これらの取り組みを通じて、「だれもが、いつでも、どこでも」スポーツに親しめる環境を整備し、「生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」の実現を目指します。

また、世界に誇る多くの歴史文化遺産や四季の美しい自然をはじめとした多彩な魅力を、県民総出のおもてなしで、全国に向けて発信します。

このような取組を、大会の成功に向けて、全ての市町村及び競技団体、関係団体・機関の協力と創意工夫のもと、県内一丸となって進めていきます。

2. 実施目標

(1) スポーツを支える仕組みづくり

トップアスリートの指導者だけでなく、地域のスポーツ指導者やボランティアなど、スポーツを支える人たちが、スポーツの楽しさや喜びを伝え、選手を導けるように、教育分野やスポーツ医・科学等とも連携・協力し、スポーツを支える仕組みづくりに取り組みます。

(2) 県民に夢と感動を届ける競技スポーツの推進

県民が夢や感動を得ることができる大会になるよう、奈良県で活躍する選手を育成するとともに、子どもをはじめ多くの県民が、一流のスポーツに触れ、憧れ、自らも取り組むことができる競技施設を整備します。

(3) だれもがスポーツに親しめる地域スポーツの推進

障害の有無や年齢などにかかわらず、だれもがいつでも運動・スポーツに親しめる身近な環境を整備するとともに、スポーツの楽しさや喜びを広め、県民の生涯を通じた幅広いスポーツ活動に繋げていきます。

(4) 奈良県の魅力を全国に発信

自然や文化など地域の魅力がスポーツと繋がり、さらに新たな魅力を創出できるよう、県、市町村等が連携・協力し、地域の賑わいづくりに取り組みます。

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会

広報・県民運動専門委員会

愛称・スローガン選定部会設置要項（案）

（趣旨）

第 1 条 この要項は、第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会奈良県開催準備委員会専門委員会規程第 5 条の規定に基づき、広報・県民運動専門委員会（以下「専門委員会」という。）に設ける愛称・スローガン選定部会の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（所掌事務）

第 2 条 部会は、以下の事項について所掌する。

- （１）応募作品の審査及び採用作品の選定に関すること
- （２）その他、審査及び選定に関する必要な事項

（部会の構成）

第 3 条 部会は、以下の委員をもって組織する。

- （１）部会長 1 名
- （２）部会員 若干名

2 部会長は、部会を代表し、会務を総括する。

（任期）

第 4 条 部会の委員の任期は、部会の目的が達成されたときまでとする。ただし、充て職にあたっては、委員就任時の機関、団体等の役職を離れたときは、その資格を失い、後任者が残任期間を務めるものとする。

（会議）

第 5 条 部会の会議は、部会長が招集し、部会長が議長となる。

2 部会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

附 則

この要綱は、令和 年 月 日から施行する。

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会 愛称・スローガン選定要領（案）

1 目的

この要領は、第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会の愛称及びスローガンの採用作品を選定するために必要な事項を定める。

2 審査基準

選定にあたっては、次の事項を勘案して審査するものとする。

(1) 愛称・スローガン共通

- ① 言葉の響きやリズムがよく、印象に残ること。
- ② 一部の地域に限定される表現が用いられていないこと。
- ③ 過去に使用された作品と類似していないこと。
- ④ 開催基本方針から想起されるフレーズに沿った内容であること。
「だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しむ」
「活き活きと安心して健やかに暮らす」
「奈良県の魅力発信」 など

(2) 愛称

- ① 誰からも親しみやすく、呼びやすいものであること。
- ② 奈良県らしさのある言葉で、奈良県の魅力を広く発信できるものであること。

(3) スローガン

- ① 奈良県で開催される大会の趣旨や目的、大会に向けた思いを印象づける言葉であること。
- ② 奈良県をイメージできる言葉・フレーズが用いられていること。

3 選定方法

(1) 事務局による調整（第 1 次選定）

事務局は、応募作品をとりまとめ、愛称、スローガンごとに「応募作品一覧表」を作成する。

さらに、事務局は「2 審査基準」に基づき、「応募作品一覧表」の中から 50 作品程度を選定し、「第 1 次候補応募作品一覧表」を作成する。

(2) 愛称・スローガン選定部会による第 2 次選定（書類審査）

- ① 愛称・スローガン選定部会（以下、「部会」という。）の委員は、「第 1 次

候補応募作品一覧表」の中から、優れていると思われる作品各 10 作品程度を優劣つけずに選定し、その結果を事務局に報告する。

- ② 事務局は、①で報告を受けた作品をとりまとめ、「第 2 次候補作品一覧表」を作成する。

(3) 部会による第 3 次選定（書類審査）

- ① 部会の委員は、「第 2 次候補作品一覧表」の中から、優れている作品を、順位をつけて各 5 作品を選定し、その結果を事務局に報告する。
- ② 事務局は、①で報告を受けた作品について、得点順に並べた「第 3 次候補作品一覧表」を作成する。

(4) 最終候補の選定

部会を開催し、部会の委員の協議により愛称及びスローガンそれぞれの「第 3 次候補作品一覧表」の中から上位 10 作品程度を選定し、順位付けを行い事務局に報告する。

(5) 事務局での整理

部会から報告を受けた 10 作品程度について「最終候補作品一覧表」を作成し、広報・県民運動専門委員会に報告する。

(6) 広報・県民運動専門委員会による決定

広報・県民運動専門委員会を開催し、事務局から報告を受けた「最終候補作品一覧表」について協議し、採用作品各 1 点を決定する（適宜、専門委員会による補正を行うことができる。）。

なお、採用作品の応募者が複数ある場合は、別途定める抽選方法により、懸賞当選者を決定する。

4 報告及び発表

常任委員会において、愛称及びスローガンの採用作品を報告する。

採用作品の発表は、令和 8 年 3 月頃にホームページなどで公表する。

**第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会
愛称・スローガン懸賞当選者抽選要領（案）**

1 趣旨

この要領は、第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会奈良県準備委員会広報・県民運動専門委員会（以下「専門委員会」という。）において、愛称・スローガンの採用作品が複数の者から応募があった作品である場合に、懸賞当選者を選定するために必要な事項を定める。

2 抽選対象者の確定

- （1）複数の者から応募があった採用作品を対象作品といい、その応募者を抽選対象者とする。
- （2）第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会奈良県準備委員会事務局（以下「事務局」という。）は、対象作品ごとに抽選対象者に抽選番号を付し、抽選対象者一覧表を作成する。

3 抽選の場所および抽選者

- （1）抽選は、専門委員会において行うものとする。
- （2）抽選者は、専門委員会委員長とする。

4 抽選方法

- （1）事務局は、抽選対象者一覧表により、抽選対象者の確認を行う。
- （2）事務局は、抽選番号が書かれた抽選カードを抽選箱に入れ、抽選者は抽選箱から一枚の抽選カードを取り出す。
- （3）事務局は、抽選箱から取り出された抽選カードの番号を確認し、抽選対象者一覧表から該当する抽選番号が付された抽選対象者の氏名、住所等を読み上げ、懸賞当選者を決定する。

第 85 回国民スポーツ大会・第 30 回全国障害者スポーツ大会 マスコットキャラクターのデザインについて（案）

1 経緯

第 1 回広報・県民運動専門員会（令和 6 年 1 月 1 2 日）において、大会マスコットキャラクターとしてせんとかんの起用及びデザイン条件を決定

【デザイン条件】

国民スポーツ大会	全国障害者スポーツ大会
「2031」と記載されたスポーツユニフォームを着用	国民スポーツ大会のデザインを踏襲しつつ、障害者スポーツの要素を付与
具体的なデザインイメージ： スポーツユニフォームを着用し、正面に向かって走るデザイン	具体的なデザインイメージ： 国民スポーツ大会のデザインと同様のスポーツユニフォームを着用し、車椅子を利用するデザイン

2 デザイン案

上記デザイン条件を踏まえ、藪内佐斗司先生がデザイン案を作成

【コンセプト】

- ✓ 奈良県をイメージした若草色のユニフォームを着用
- ✓ ユニフォームで大会開催年「2031」をアピール

国民スポーツ大会



全国障害者スポーツ大会



3 マスコットキャラクターの活用

第 6 回常任委員会（令和 7 年 8 月 5 日）にマスコットキャラクターのデザインを報告。同委員会での報告後、大会広報で活用

開催内定を契機とした広報活動について

1. 背景と目的

国民スポーツ大会は、県準備委員会が大会開催年の 5 年前の 6 月に開催申請書を提出し、その申請に基づいて、日本スポーツ協会が同年 9 月末日までに大会開催地を内定することとなっています。

令和 13（2031）年に開催予定の奈良県では、令和 8（2026）年 6 月の開催申請、令和 8（2026）年 9 月の開催内定を目指しています。

開催内定は、大会準備における重要な節目であるとともに、大会の認知度を高め、県民の関心を喚起する好機といえます。

本日は、令和 8 年の開催内定を契機とした広報活動のあり方について、ご意見をお伺いします。

頂戴したご意見・ご提案は、事務局において内容を精査の上、令和 8 年度計画の立案に反映し、次回の委員会においてご審議いただく予定です。

2. 意見交換のテーマ

①開催内定イベントの実施可否と開催内定に関する広報施策について

先催県では開催内定イベントを実施しなかった県もあります。

- ・ 青森県（令和 8 年大会開催）
- ・ 宮崎県（令和 9 年大会開催）
- ・ 長野県（令和 10 年大会開催）

これらの県では、節目イベントに代わりに以下の広報が行われました。

- ・ 新聞・テレビによる広告
- ・ 懸垂幕による広告
- ・ 大会 PR 動画の作成・配布
- ・ ノベルティの制作・配布 など

開催内定イベントを実施するかどうか、限られた予算やリソースの中でどのような広報手段を実施するのが効果的か、ご意見を伺いたい。

②開催内定イベントの内容について

開催内定イベントを実施する場合、イベントの規模や形式をどのように設定し、どのような内容が適切か、ご意見を伺いたい。

参考：開催内定イベントの実施例

開催県	滋賀県 (令和 7 年大会開催)	群馬県 (令和 11 年大会開催)
時期	令和元年 11 月 16 日	① ステージ 令和 6 年 9 月 28 日 ② ブース 令和 6 年 9 月 28 日～29 日
実施場所	イオンモール草津	群馬県庁 1 階北ホール
内容	〈ステージイベント〉 ・ビデオメッセージ上映 ・〇×クイズ ・大会マスコットキャラクターによる写真撮影会 ・トークショー 〈スポーツ体験ブース〉 以下の体験ブースを運営 ・e スポーツ ・スポーツウエルネス吹矢 ・ボッチャ ・ユニカール 〈PRブース〉 ・チラシ、グッズ等の配布	ぐんまちゃん活動 30 周年記念 「ご当地キャラカーニバル」内でのイベント実施 ① ステージイベント ・国スポユニフォーム姿のぐんまちゃんお披露目 ・ぐんまちゃんから内定発表 ② PRブースでのノベルティ配布
集客数	2,000 人	国スポ関連での集客は 200～300 人程度